

## ● 調査レポート

### 埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)

－ 2009年4～6月期－

調査対象企業：県内企業 991 社  
回答企業：286 社(回答率 28.9%)

調査方法：アンケート方式を中心  
業種別内訳：製造業 162 社 非製造業 124 社

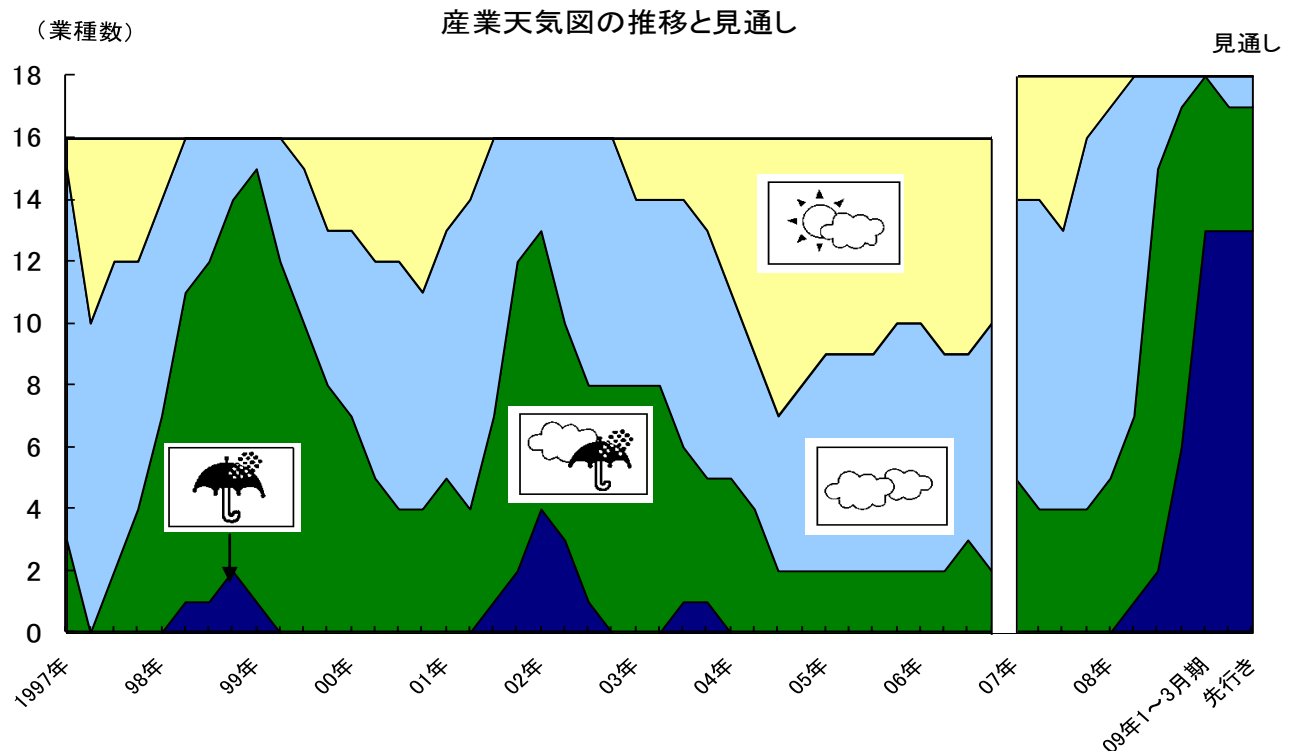
#### 概況

今回の産業天気図は、「雨」の業種が3分の2以上を占める本降りとなっている。業種別にみると、製造業では、**パルプ・紙・紙加工品**が受注価格低下などによる売上の減少が続き、**印刷・同関連業**が受注量や受注価格の不振などから、ともに「曇り一部雨」から「雨」へ後退した。一方、**飲・食料品**が販売量の持ち直しや原材料価格・燃料価格の低下に伴うコストの低減が寄与し「曇り一部雨」から「曇り」へ、**化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品**が、受注量などの持ち直しにより「雨」から「曇り一部雨」へ、それぞれ変化した。また、非製造業では、**住宅建設**が在庫調整の進展などを受けて「雨」から「曇り一部雨」へ持ち直した。この結果、前回から今回にかけて天気模様は、18業種中「曇り」が0→1、「曇り一部雨」が5→4、「雨」が13→13業種となった。

先行きは、製造業、非製造業ともに、総じて先行き不透明感が強く、天気が回復する業種は見当たらない。今回から先行きにかけての天気模様は、18業種中、「曇り」が1→1、「曇り一部雨」が4→4、「雨」が13→13業種となり、雨が降り続き低迷状態は変わらない見通しとなっている。

(注1)「現状」とは2009年4～6月期、「先行き」とは2009年7～9月期の見通しである。

(注2)2007年1～3月期調査より調査対象業種数は16→18となった。従って、産業天気図においては、2006年10～12月期と2007年1～3月期とで連続していない。



(注3)天気の評価は、2007年1～3月期調査より企業経営動向調査の業種別BSIを基本とし、☀(晴)、☁(晴一部曇)、☁(曇)、☁(曇一部雨)、☔(雨)の5段階で表現している。